

## 2022 年度 事業報告書

学校法人 白頭学院  
建国高等学校・中学校・小学校  
認定こども園 建国幼稚園

### 1. 本校の教育方針

「韓日、アジア、世界で活躍する子どもたちの学校をめざして」

一人一人の可能性を育み、自由闊達な探究と本校ならではの韓国語をはじめとした多言語教育の推進に一層努め、韓日、アジア、世界の懸け橋となる子どもたちの学びを深めていきます。日本における韓国文化拠点としての一翼を担い、在日韓国社会の次世代育成はもちろん、すべての子どもたちのアイデンティティを大切にしつつ、豊かな学力と進路指導の充実、そして多文化共生社会を牽引する学校教育をめざします。

### 2. 本校の教育目標

- 1) 在日韓国人としての自覚と矜持を涵養する。
- 2) 国際社会へ主体的に適応することのできる能力を育てる。
- 3) 自主的な生活実践を通して社会に奉仕する人間を育成する。
- 4) 個性を伸ばし創造性を育てる。

### 3. 学校沿革

- |       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 1946年 | 建国高等学校、建国高等女学校 創立                   |
| 1947年 | 建国中学校に改称                            |
| 1948年 | 建国高等学校設立                            |
| 1949年 | 建国小学校設立                             |
|       | 文部省より財団法人白頭学院 認可                    |
|       | 学校教育法第1条に依る学校として認可される。              |
| 1951年 | 財団法人から学校法人へ組織変更する。                  |
| 1985年 | 日本私立学校連合会 加盟                        |
| 1986年 | 創立40周年 記念式典挙行                       |
| 1996年 | 創立50周年 記念式典挙行                       |
| 1997年 | 幼稚園 学校法人の認可を受け、日本学校教育法第1条に依る法的資格を得る |
| 2006年 | 創立60周年 記念式典挙行                       |
| 2013年 | 新校舎建設開始                             |
|       | 幼稚園 新制度（施設給付型幼稚園）に移行                |

- 2015年 新校舎竣工
- 2016年 創立70周年 記念式典挙行
- 2019年 幼稚園が認定こども園に移行認可を受ける
- 2023年 新教育棟竣工

4. 在校生、卒業生 単位:人

	在校生	卒業生累計
幼稚園	63	670
小学校	147	2289
中学校	95	4213
高等学校	146	5044
合計	451	12216

5. 教員数

	人数
校長	1
教頭	3
教師(男)	23
教師(女)	32
講師(男)	2
講師(女)	13
合計	74

6. 施設・設備の増築改築などについて

- 新校舎竣工 (2015年度)
- 体育館空調設備(冷暖房)完工(2017年度)
- 新教育棟竣工(2023年度)

7. 教務関係について

- 全体 2021年11月 白川重雄理事長就任
- 2021年3月 李鐘建 園長及び校長退任
- 2022年4月 金秀子 建国幼稚園園長就任
- 黄裕錫 建国小・中・高等学校校長就任
- 2023年4月 金秀子 建国幼・小・中・高等学校校長就任

黄裕錫 建国小・中・高等学校副校長就任

松崎隆行 建國中・高等学校教頭就任

李福子 建国小学校教頭就任

康龍江 認定こども園建国幼稚園副園長就任

## 8. 財務の概要

### 1) 2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)決算の概要

資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録、監査報告書は別途記載

### 2) 資金収支

「学生生徒納金収入」高校の生徒数減によって2020年度をピークに2年連続して下がっている。「補助金収入」全体では13百万円のプラスだが、高校の生徒数減によって大阪府の補助金は前年比15百万円のマイナス、一方認定こども園の園児数が伸びているため大阪市の補助金が28.6百万円のプラスとなっている。認定こども園はキャパシティの問題もあり次年度以降の大幅なプラスは見込めない。「寄付金収入」全体で37.5百万円の大幅増。これは韓国政府からの補助金が「特別寄付金収入」及び「一般寄付金」と二つに計上しており元の金額自体は例年と変わっていない。しかしドル建てによる支払いため、円安ドル高による恩恵を強く受けた。次年度はこの点を考慮する必要がある。また広告宣伝費及びICT関連の支出に充当させるため理事長からの寄付金20百万円が「特別寄付金収入」に計上されている。

支出は「施設関係支出」が新教育棟(増築校舎)の費用の一部を支払っているため28.9百万円のプラスとなっている。

### 3) 現金預金

前年度よりマイナス28.4百万円。これは増築校舎のために韓日交流財団からすでに受けていた寄付金80百万円の一部を工事費支払いに充てるために取り崩したため。翌年度繰り越し支払い資金は188.5百万円。

### 4) 基本金組み入れ

第1号基本金 増築校舎によって44百万円の増。

第4号基本金 10百万円の増。

## 総評

新型コロナウイルス感染症も5月8日より5類感染症に移行となり、コロナ前の教育活動が完全に再開された。小中高は前年比微減、幼稚園は順調に伸びてきている。

新しい教育方針が示され、今までの学校のアイデンティティーを礎にさらに多様性を尊ぶ学校を希求することが明確にした。また寄附行為の変更もあり役員も人数面でコンパクトになり経営責任が明確になった。